

茨城県立下妻第二高等学校

同芳会 会長挨拶

茨城県立下妻第二高等学校同芳会会長
青柳 とし子（あおやぎ としこ）



会員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、私も平成25年度から同芳会会長を引き受け、9年目を迎えることができました。会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

この9年間を振り返ってみますと、世の中は自然災害、特に熊本地震、鬼怒川の決壊、さらにこの1、2年の新型コロナウイルス等に振り回され、大きな困難に直面しました。お互いに助け合い励まし合うことの大切さを再認識された方も数多いのではないのでしょうか。

さて今の高校生活は、私の高校時代とはだいぶ変わってきているように思われます。

勿論、平成5年から男女共学になり、校舎の位置も変わり、現在は学校の前を国道が走っています。唯一変わらずにあるのは狭いグラウンドかな、と思います。

私の高校時代の学校行事には、体育祭の他にマラソン大会があり、畑や田んぼ道を皆で走ったものです。

令和元年の9月には110周年記念講演会として、喜幸会及び無絃塾による津軽三味線を主体とした演奏、パフォーマンスを開催しました。若者たちの和太鼓や三味線、沖縄の踊り等に触れ、生徒にも良い刺激となったようです。

同芳会としての活動は今のところしておりませんが、これからは皆さまからのご意見やご希望を取り入れて、新たなことに挑戦していきたいと思っています。

今後ともよろしくご指導の程お願い申し上げます。



弓道部指導の様子

110周年記念講演会の演奏

